

辛味のないシシトウの現地実証試験

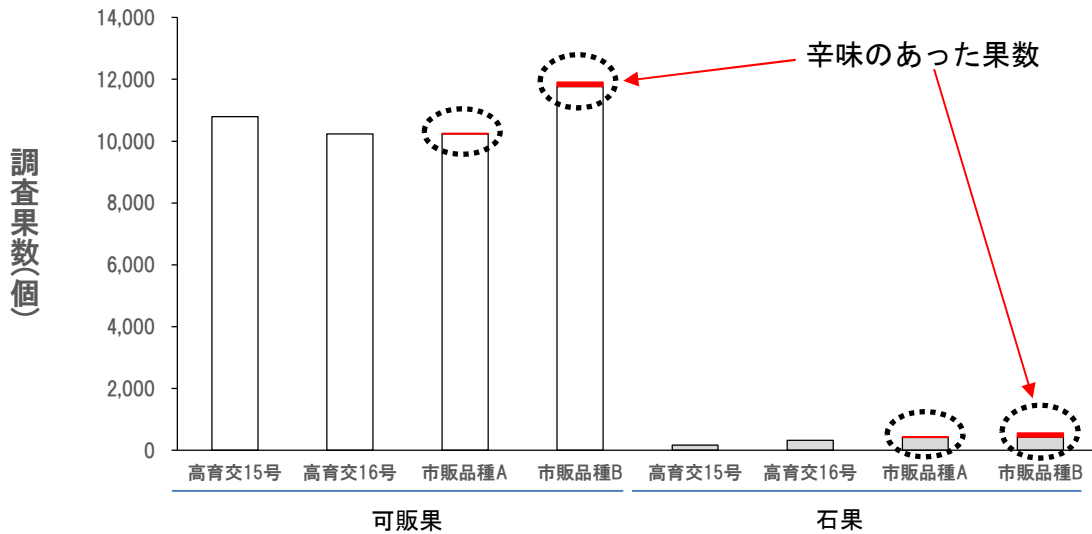


図1 可販果および石果における辛味果の発生

注) 令和2年10月2日から令和3年2月28日まで、所内ビニルハウス栽植の各系統10株について全収穫果を調査

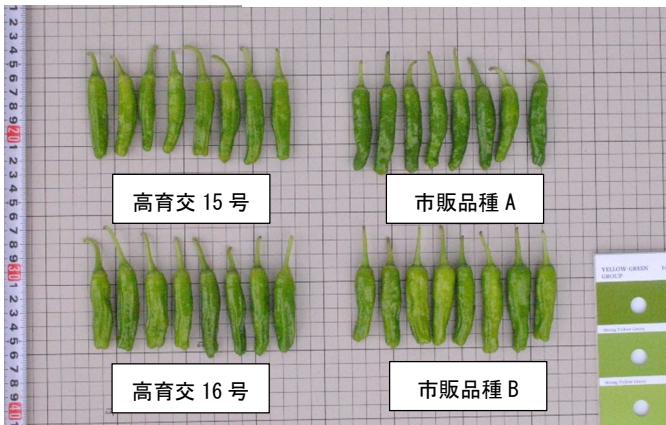


写真1 「高育交 15号」および「高育交 16号」の果実

高知県の重要な園芸品目であるシシトウでは、高温や乾燥といった栽培中のストレスにより果実に辛味が生じることが知られています。そこで、安心して召し上がっていただくために、どのような栽培環境でも辛くならないシシトウを新たに育成しました。

今回育成した「シシトウ高育交 15号」および「シシトウ高育交 16号」の最大のポイントは辛味が発生しないことです(図1)。果形およびA品果率は市販品種とほぼ同じです(写真1)。



写真2 農業担い手育成センターで栽培中の「高育交 16号」

令和2年度の促成栽培として所内および現地ほ場2カ所(高知県立農業担い手育成センター実証ほ場および須崎農業振興センター管内ほ場)で両系統の特性を調査しました(写真2)。今後、必要なデータを集めて品種登録し、高知県産の辛味のないシシトウを全国にPRしたいと考えています。

本研究は、内閣府地方大学・地域産業創生交付金「IoP (Internet of Plants)」が導く「Next 次世代型施設園芸農業」への進化」の助成を受けたものです。

(園芸育種担当 尾崎 耕 088-863-4916)